



日本コカ・コーラ株式会社

JGAP基準を活用した 自社持続的農業プログラムへの展開事例

7月27日

日本コカ・コーラ(株)

原料調達本部 農産原料部 遠藤誠司

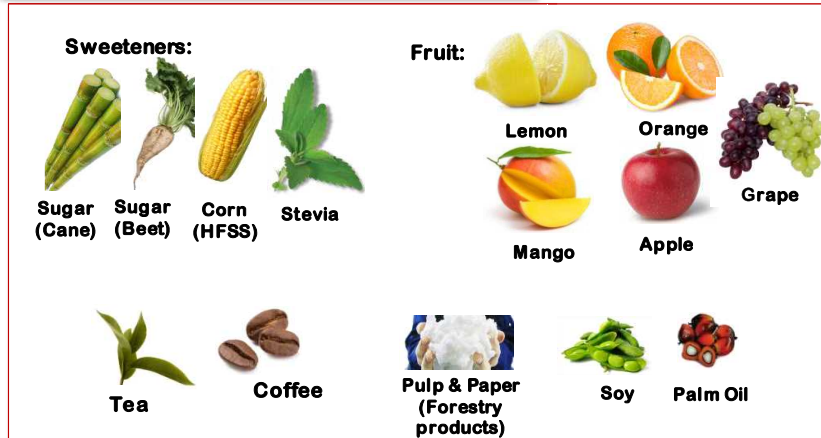
1

はじめに ザ コカ・コーラカンパニー 2020ビジョン 持続可能な調達

ザ コカ・コーラカンパニー 2020ビジョン



持続可能な調達目標の主要農産物

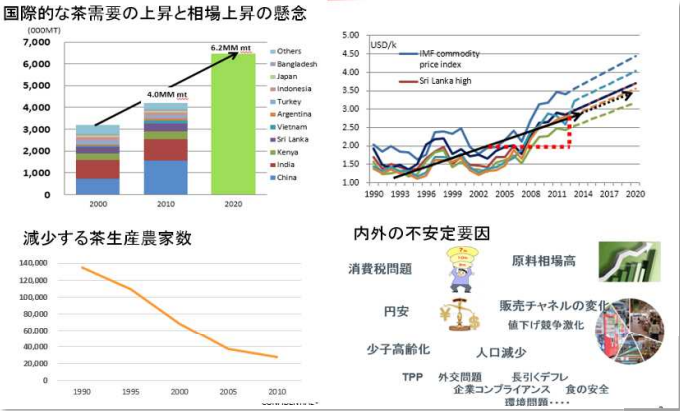


グローバル目標: 2020年までに主要農産原料の適合完了

日本コカ・コーラ目標: 2015年までに茶・コーヒー原料の適合完了

原材料サステナビリティに向けた取り組みの背景

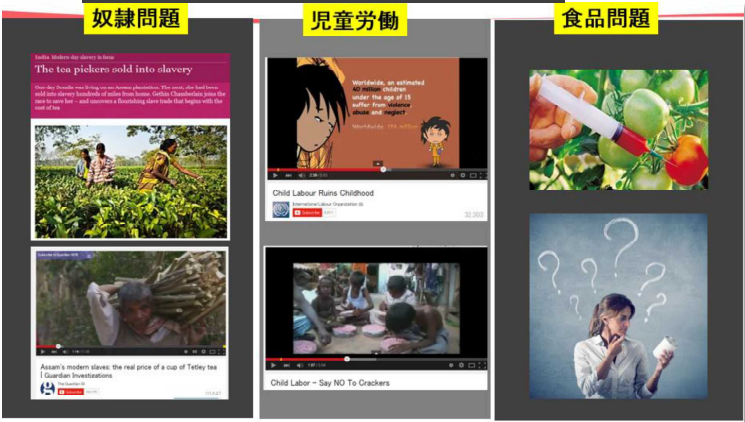
将来に向けた事業継続のための生物資源対策



持続可能な調達の世界規模で展開されています



企業の社会的責任と食品安全



日本茶におけるSAGP導入プラン JGAP協会との協業体制を確立

ザ コカ・コーラカンパニーの持続可能な農業の基本原則

人権と職場権利	1. 結社の自由と団体交渉	24項目
	2. 児童労働、強制労働および労働虐待の禁止	
	3. 差別の解消	
	4. 勤務時間および賃金	
	5. 安全で健康的な職場の提供	
	6. 地域社会および先住民の権利	
環境	7. 水管理	26項目
	8. エネルギー管理と気候保護	
	9. 自然生息環境および生態系の保全	
	10. 土壌管理	
	11. 作物保護	
農場管理システム	12. 収穫および収穫後の取り扱い	14項目
	13. 生殖物質の識別、選定と取り扱い	
	14. 管理システム、記録保管および透明性	
	15. 誠実な事業活動	

JGAPでは当時基準がなかった部分。世界的に最も必要とされており、コカ・コーラ社では達成必須項目



JGAPとの相同性が高い要求事項であり、プログラムのベースとして活用

JGAP協会と適合基準を設定・生産者と打合せ、認証作業



茶サプライヤー、本社協力による生産者エンゲージメント



既にJGAPを取得済み、将来取得予定の生産者を中心に認証取得活動を展開しました

SAGP導入結果・期待される効果

導入規模

	2014年～2015年 JGAP+SAGP取得実績 (予定含む)	備考
生産者組合数	133	農家数 約3,000件
JGAP取得作付面積	約6,000ヘクタール	日本の茶栽培面積の10%

生産者との関係強化



企業としての取り組み結果を社外へ発信



コカ・コーラの女性支援プログラムとの連携

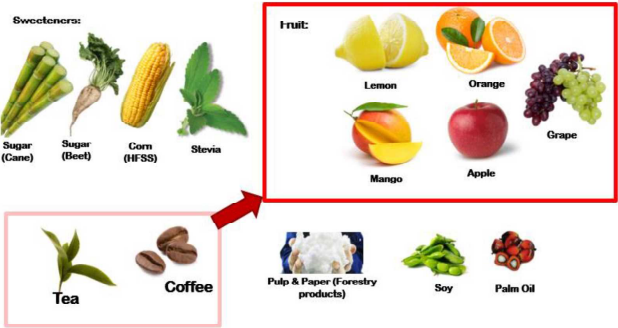


生産者の皆様との関係強化と女性支援活動を組み合わせることにより、取引環境の好循環と コミュニティの活性化が期待されます

5

SAGPの展開と2020年以降に向けての計画

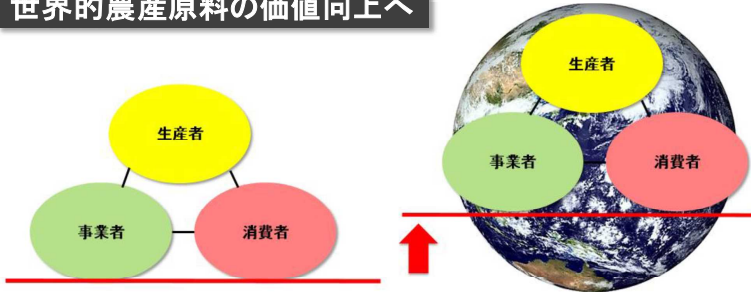
果実・野菜への展開



東京オリンピック調達基準への適合



世界的農産原料の価値向上へ



6